

水稲用初・中期一発処理除草剤

ゼータハンマー[®]

ジャンボ



Sokojikara
クログワイに底力!!

本剤は(公財)日本植物調節剤研究協会での
A-1S区分:難防除雑草一発処理(クログワイ)で
判定を取得しています。

雑草を叩きのめす。

プロピリスルフロン
ベントキサゾン
2成分



処理区

クログワイへの除草効果(処理39日後)
2015年 住友化学(株)社内試験 ※写真はゼータハンマー1キロ粒剤によるものです。



無処理区



ノビエ



ホタルイ



コナギ



アゼナ

ゼータハンマー[®]ジャンボ

- ◆ 2成分の一発処理除草剤（プロピリスルフロンの、ペンタキサゾン）
- ◆ 高葉齢のノビエ（3葉期）を始めSU抵抗性雑草に優れた効果
- ◆ 多年生難防除雑草クログワイに高い効果

適用と使用方法

2021年8月現在の登録内容

主要雑草に対する使用適期

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ、ミズガヤツリ ウリカワ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ シズイ、ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後3日～ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	小包装 (バック) 10個 (200g) /10a	1回	水田に 小包装 (バック) のまま 投げ入れる
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ミズガヤツリ、ウリカワ ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			

ウリカワ	3葉期まで (直播水稲は2葉期まで)
ヘラオモダカ ホタルイ	3葉期まで
ミズガヤツリ	3葉期まで (直播水稲は草丈10cmまで)
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前から再生始期まで
オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで
シズイ	草丈3cmまで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前まで



プロピリスルフロンの含む農薬の総使用回数
2回以内

ペンタキサゾンの含む農薬の総使用回数
2回以内

上手な使い方

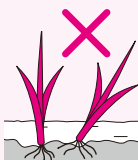
均平化作業・植付けはていねいに!

田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不良・被害の原因になることがあります。



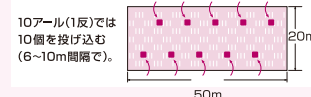
移植深度は適正に!

極端な浅植では根が露出し被害原因となります。根が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。



散布時の注意!

- ①水深5～6cmで散布。
- ②藻類、浮草が発生する前に散布。
- ③「濡れた手」で扱わない。
- ④バックを破らずに投げ入れる。



散布後の注意!

散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。



使用上の注意事項

- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきってください。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に使用するよう注意してください。
- 藻類または表層はく離の発生しやすい水田では、有効な剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植え付けが均一になるように整地、代かきはていねいに行い、ワラくすなどの浮遊物はできるだけ取り除いてください。また、未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行ってください。
- 処理に当っては、水の出入りを止めて5～6cmの湛水状態に保ってください。処理後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水尻を止めて通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じてください。
- 小包装(バック)のまま、10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 藻や浮き草が多発している水田では拡散が不十分となり、部分的な被害や効果不足の可能性があるので使用をさけてください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。
- 稲の根が露出する条件では被害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 以下のような条件では被害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - ①砂質土壌の水田および漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)。
 - ②軟弱な苗を移植した水田。
 - ③極端な浅植の水田。

- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので、使用をさけてください。
- 散布後の著しい高温条件下では被害を生じることがあるので、天候に注意して使用してください。
- 移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のもまでは十分な効果を期待しない場合がありますので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- その殺草特性から、いぐさ、れんこん、セリ、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用の場合は十分注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないでください。
- 使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 濡れた手で触らないでください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。● 空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

03R8H21Z30:ZS

2021年8月作成(全新企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCC GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 ☎ 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

